

No.	報告担当	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和元年度取組実績	プラン施策	プラン 重点的取組
1	白石市	国道113号(二市二町)観光推進協議会事業	白石市、七ヶ宿町(山形県高島町、山形県南陽市、観光協会、旅館組合)	宮城・山形両県国道113号沿線2市2町の観光資源の共同PRと交流促進	①みちのくおとぎ街道スタンプラリーの実施 有効応募数494通、当選者へ温泉ペア宿泊券や二市二町の特産品の詰め合わせギフトをプレゼントした。 ②ホームページ、雑誌広告等による情報発信 既存のホームページと多言語ポータルサイトにより情報発信を行った。また、雑誌広告でスタンプラリーを紹介した。 ③観光物産展への参加 全日本こけしコンクール(会場:白石市)で行われた物産展へ参加した。	施策1-② 施策3-②	重点1(1)
2	白石市	OneZaoインバウンドプロモーション事業(6市町連携分)	白石市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町(山形県山形市、山形県上山市)	蔵王連峰を囲む6市町が連携し、「蔵王(ZAO)」をキーコンテンツに各市町の魅力ある滞在コンテンツを結びつけ、多様な旅行商品造成の促進とFIT・GITに向けた統一したプロモーションを進め、訪日外国人の宿泊増と滞在コンテンツの充実もあわせて行う。	①旅行博及びテーマ系国際イベント出展 台湾で3回、タイで1回、旅行博などのイベントに出展。4回のイベントでOneZaoプースの来訪者は32,500人。事前にWEB上に記事を掲載しイベントで紹介、効果的に情報を発信することができた。 ②ファムトリップ及び商品造成 ファムトリップは、台湾1社、タイ1社、中国3社、香港1社の計6社を招請。実際に複数の観光コンテンツが選ばれ、造成されたツアー商品は10本に達した。 ③海外メディア広告 台湾向けに、タイガーエア機内誌(発行部数12,000部)、Taipei Walker(発行部数80,000部+WEB・SNS)に蔵王エリアを紹介する記事(風景、観光スポットなど)を掲載。タイ向けには、旅行商品チラシの作成、旅行関連SNSに広告を掲載した。 ④共通パンフレット作成 連携6自治体共通のパンフレットを英語、繁体字、タイ語で37,100部作成。台湾とタイの旅行博等のイベントで配布したり、各自治体の観光施設や宿泊施設に設置した。	施策1-② 施策3-③	重点1(1) 重点1(2)
3	白石市	OneZaoインバウンド滞在コンテンツ充実強化事業(白石市単独分) ※R元年度末で終了	白石市(宮城県、山形県、山形市、上山市)	・白石城で「甲冑試着アンケート調査」を実施し、既存のコンテンツの磨き上げをはかる。	実施期間:平成31年4月26日から令和元年10月25日 実施内容:白石城において甲冑の試着体験をした方にアンケート調査を実施。交通手段や白石城を知ったきっかけ、甲冑試着体験を有料とした場合の料金設定、基本情報について回答を得た。有効回答2,070件のうち外国語での回答も21%あり、国内に限らず、国外からの誘客促進に繋がる回答が得られた。	施策2-① 施策4-①	重点2
4	白石市	OneZaoインバウンド受入環境整備事業(3市町共通分) ※R元年度末で終了	白石市 蔵王町 川崎町	2022年中国北京で開催される冬季オリンピックに向け、中国政府も冬のスポーツ振興を進めており、スキー場を複数持つ白石蔵王地域においても中国語あるいは英語対応のできる窓口担当者や技術講師のニーズが高まっているため受入環境整備を実施する。	①スノースポーツ指導者育成 スキー場関係者向け人材育成セミナーを実施。33名が参加。また、モニターツアーを企画し、中国等から140名が参加。研修内容を実践する機会を設けた。 ②WEB・パンフレット・看板翻訳 管内スキー場4か所について、WEB翻訳、多言語パンフレットの作成、場内の看板翻訳を行った。全て、英語、繁体語、簡体語に対応。パンフレットは、台湾で行われた旅行博等でも配布した。 ③インバウンド向け雪遊びコンテンツ開発 各スキー場の特色を活かした雪遊びコンテンツの充実を図り、また、その周知のため雪遊びに特化したチラシを多言語で作成、旅行博やイベント等で配布した。	施策7-① 施策7-②	重点1(2)
5	角田市	イベント運営事業	角田市(亙理町、山元町)	登山ルートの紹介も兼ねて四方山の魅力を再発見してもらう。	11/9に四方山トレッキングイベントを開催予定(参加申込者51名)であったが、台風第19号の影響によりやむなく中止とした。 四方山の登山ルート紹介をメインに、3市町の観光情報を含んだ観光パンフレット「四方山登山ガイド」を作成(30,000部)した。	施策1-②	重点1(1)
6	角田市	阿武隈急行沿線開発推進協議会事業	角田市、柴田町、丸森町(阿武隈急行(株)、沿線市町)	阿武隈急行線の運営支援及び沿線開発の促進	・あぶQウォーク (角田市2回、柴田町1回、丸森町1回、外3回実施) 角田市:4/28菜の花コース参加455名、9/29斗蔵山コース参加295名 ・フォトコンテスト (応募数:角田市10、丸森町29、柴田町1、伊達市86、福島市17)	施策1-② 施策3-②	重点1(1)

No.	報告担当	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和元年度取組実績	プラン施策	プラン 重点的取組
7	角田市	角田ブランドプロモーション事業 ※R元年度末で終了	角田市 (角田市商工会、道の駅かくた)	角田産食材を使用したグルメ商品開発を行う	(株)ソノベと連携し実施した。かくた★ぐるめシュランサミットと称し地場産品を使用したワンカップの料理を市内飲食店に開発・提案いただいた。 11月26日に仙南シンケンファクトリーを会場に料理研究家江川和花氏(通称:わかちゃん)を講師に招きサミットを開催(参加者42名)した。そこで出されたアンケートを基に商品を改良、2月15日にお披露目を道の駅かくたにて開催、全5品・100食を完売した。	施策2-① 施策2-②	
8	角田市	角田グルメプロジェクト	角田市商工会 (角田市)	角田ブランドの推進	市内飲食店1店舗(Panch)と連携し商品開発を行った。 レストランバー「パンチ」内に「東北宝缶詰研究所」を立ち上げ、野田鴨を使った商品「鴨団子」と「鴨飯の素」、他に牛肉のデミグラスミートボールも開発した。	施策2-① 施策2-②	
9	角田市	仙南地域地場産業振興協議会	仙南2市7町	仙南2市7町が一体となり、地場産品の販路拡大に向けた事業を実施する。	池袋アンテナショップココミヤギ物販に向けて担当者会議を7/30に実施。台風19号の影響で丸森町が不参加となったが、11/13～11/20に2市6町で実施した。 10/7～10/11に県庁販売会実施。	施策2-②	
10	角田市	体験型かくたチャレンジ推進事業	角田市 (角田市商工会、道の駅かくた)道の駅かくた)	道の駅をプラットフォームとする地域資源をフル活用した体験型観光を推進	道の駅かくたが4/19にオープン。3月には来場者100万人を達成した。継続してHPやSNS、TVなど各種媒体を通じてPRを行う。3月にかくた体験型観光ツーリズム推進事業アクションプランを策定。	施策4-① 施策6-①	重点2
11	蔵王町 村田町 川崎町	みやぎ蔵王三源郷インバウンド宿泊促進事業(3町共通) ※R元年度末で終了	蔵王町、村田町、川崎町	宮城県南地域で鉄道が通っていない3町が連携し、みやぎ蔵王三源郷エリアの魅力を一体化してさらに効果的にPRするため、仙台国際空港からのシャトルバスを自主運行させる。 シャトルバスを活用したツアー造成を行い、仙台空港からの外国人観光客を3町へ誘客して外国人観光客がエリア内周遊を楽しめるようにする。またみやぎ蔵王三源郷のファン獲得を目指し、PRイベントなどにより認知度を向上させ、インバウンド宿泊誘客増加を図る。	【蔵王町】 令和元年6月21日～令和2年3月31日 1日2往復運行 乗車人数:計308名 ・ツアー商品造成事業 シャトルバスを利用したみやぎ蔵王三源郷エリアへの誘客を図るツアー造成を実施した。 ・ファン獲得広報宣伝事業 海外PR用パンフレット、着地型リーフレット、ポスターを作成し配布した。 台湾とタイのインフルエンサーによる魅力発見ツアーイベントを実施した。 【川崎町】 ・令和元年6月21日から令和2年3月31日まで三源郷エアポートライナーを運行し 計308人利用した。 ○ツアー商品造成事業 ・台湾における日本旅行ニーズを調査するため調査旅行を2回実施 ・みやぎ蔵王三源郷を中心とする観光モデルコース等を作成し、台湾エージェンツ4社に2回ずつセールススクールを実施。 ・台湾において影響力のあるインフルエンサーに協力頂き、若年層向けの動画を2種類配信。 ・海外エージェンツ向けの動画及びパンフレットを販売用ツールとして作成(5か国語) ○ファン獲得広報宣伝事業 ・着地型パンフレットの作成(5か国語 各100部) ・令和元年10月9日から10月10日にみやぎ蔵王三源郷を知名度向上を目的としたイベントを実施 ・PR用ノベルティ(風呂敷)を1,000枚作成	施策1-② 施策6-③ 施策7-⑤	重点1(1) 重点2
12	蔵王町	みちのく真田ゆかりの地事業	白石市、蔵王町 (秋田県由利本荘市)	真田幸村公ゆかりの地で連携し、みちのく真田の歴史をPRする。	7/13～14 旧藩祭での観光ブース出展(秋田県由利本荘市) 10/19～20 蔵王町産業まつり(蔵王町) 11/9～10 白石市農業祭(白石市)	施策1-② 施策2-① 施策3-②	重点1(1)
13	蔵王町	ジャパンエコトラック(ロングトレイル)による蔵王観光発信事業 ※R元年度末で終了	白石市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町 (仙台市、山形県上山市)	平成29年度に仙台市と連携し設定したロングトレイルコースをベースに自転車やカヌー等人力による移動手段で、自然を体感しながら地域の歴史や文化、人々との交流を楽しむ旅「エコトラック」へと発展させ、コース新設や延長及び派生ルートの充実を図り、国内観光客はもとより海外からの誘客を促進する。	9/5 ジャパンエコトラック(ロングトレイル)による蔵王観光発信事業連携市町村打合せ会 ルートマップ(繁体字・英語版)作成	施策3-③ 施策4-①	重点1(2) 重点2

No.	報告担当	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和元年度取組実績	プラン施策	プラン 重点的取組
14	蔵王町	蔵王町体験交流活動 推進協議会事業	蔵王町 (一社)蔵王町観光物産協会、蔵王町商工会、遠刈田温泉旅館組合他)	蔵王町内の豊かな自然や産業、農山村文化などの多彩な資源を活用した都市部住民等との体験型交流事業を積極的に推進し、交流人口増加と地域産業の振興を図り、もって地域活性化に資することを目的とする。	9/24仙台市立錦ヶ丘小学校(190名)体験受入 10/24～10/25亶理町内の小学校(52名)体験受入 2/13台湾教育旅行等関係者招請事業(10名)受入	施策4-① 施策4-③	重点2
15	蔵王町	OneZaoインバウンド 滞在コンテンツ充実 強化事業(蔵王町単 独分) ※R元年度末で終了	蔵王町	蔵王エリア内の周遊観光を促すため、外国人観光客に訴求する町内の体験型滞在コンテンツを造成・充実させる。蔵王町の伝統工芸品である遠刈田伝統こけしをキーに、こけしと雪・宿・光・温泉を組み合わせた新たな滞在型体験コンテンツの造成を図る。遠刈田伝統こけしの新たな魅力を創出して多言語により海外に発信を行う。	・スペースプレイヤー設置(蔵王町観光案内所前) 遠刈田温泉街の屋外スペースを活用し、こけしと光を活用したコンテンツを開発し、スペースプレイヤーを用いて蔵王町の魅力動画を投影して滞在コンテンツの満足度向上を図った。 ・みやぎ蔵王こけし館多言語対応 施設内の案内板等を多言語化(英語・繁体字)にし、外国人観光客への情報発信を行う。	施策4-①	重点2
16	七ヶ宿町	七ヶ宿ブランド事業	七ヶ宿町 (七ヶ宿町商工会、 七ヶ宿町観光協会)	七ヶ宿の優れた町産品等や取り組みに対し、七ヶ宿ブランドの認定を行う。	・ブランド品3品目を新たに認定、特選品に1品昇格 ・商談会に1社参加 ・パンフレット、のぼりなどの販促品を作成 ・アンケート	施策2-① 施策2-②	
17	七ヶ宿町	七ヶ宿ファンクラブ事 業	七ヶ宿町 (株)七ヶ宿くらし 研究所)	「人と場所」や「人と人」の関係を大切にし、当町の応援団となるサポーターを募り、積極的な交流を図ることで、リピーターの拡大や移住定住につながる活動を行う。	・会員に対して、イベントの案内やボランティアの協力などを周知した。現在会員は、3月末時点で27名となっています。	施策4-①	重点2
18	七ヶ宿町	農業体験などによる 宿泊型交流事業	七ヶ宿町 (株)七ヶ宿くらし 研究所)	宿泊型交流施設を整備することにより、田植えや稲刈りを始めとした様々な農業体験による宿泊型の都市農村交流やグリーンツーリズムを推進する。	農業体験(田植え、稲刈り、畑づくり)、ホテル観賞会、スノーランタン作り、独身女性と地元独身男性との交流モニターツアーなど地域の魅力を活かした体験プログラムを年間を通して実施しました。	施策4-②	重点2
19	七ヶ宿町	南蔵王やまびこの森 整備事業	七ヶ宿町	南蔵王の恵まれた自然環境を最大限に活かした観光拠点として再整備することで、宿泊交流人口の増加を図るとともに地元住民による味噌作り体験や豆腐作り体験などをとおして地域の食文化と直にふれあう機会を創出することを目的とする。	旧施設を解体し、キャンプ場を管理する交流棟の建築とテントサイトの整備をおこなった。また、施設の運営者を決定し、地元食材を使ったランチメニューを開発した。	施策4-②	重点2
20	大河原町	食のブランド化事業	大河原町 (大河原町観光物 産協会)	地域食材を活用した名物づくり	○グルメコンテストから桜まつりに向けたスイーツ開発「おおがわら一目千本桜スイーツ」に事業修正。町内菓子製造業者4業者に依頼。 ○2月に開発スイーツ発表会(当初予定では試食会)を開催したが桜まつり中止のため各店舗での販売のみ。 ○農政課で町の新たな振興作物「玉ねぎ」を使った地域食材活用料理試食会を開催。	施策2-②	
21	大河原町	みやぎ仙南サイク ルツーリズム推進会議 事業	仙南2市7町	仙南地域の観光資源をつなぎ、交流人口等増加並びに地域活性化を図るため、仙南地域市町の連携によりサイクルツーリズム事業を推進する。	○4回の作業部会で、仙南2市7町を結ぶコース案や、令和2年度事業計画及び収支計画の案をまとめ、11月5日に 首長によるみやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議を開催。令和2年度の推進会議の合意後、事業準備を進めた。	施策5-②	
22	村田町	商店街にぎわい創出 事業	村田町商工会 (村田町)	地域食材の活用等	村田新そば&秋の味覚まつりを11月1日(金)～24日(日)まで開催した。	施策2-①	

No.	報告担当	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和元年度取組実績	プラン施策	プラン 重点的取組
23	柴田町	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 (インバウンドFIT及びGITプロモーション強化事業)	大河原町, 柴田町 (「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会, 「花のまち柴田」インバウンド推進協議会, 柴田町観光物産協会)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド誘客プロモーション事業(11月8～10日のタイ旅行博に出展) ・情報誌(桜写真集)の制作→5000部作成 ・2町共通パンフ・マップ→桜まつり中止のため未作成 	施策1-② 施策3-① 施策6-①	重点1(1) 重点1(2)
24	柴田町	にぎわい創出推進事業 (地方創生事業)	「花のまち柴田」インバウンド推進協議会 (柴田町, 柴田町観光物産協会)	各媒体を活用した情報発信や、イベントの開催をとおして、交流人口の増加を図り、活力のある地域のにぎわいと、地域経済や産業の活性化を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックへの広告宣伝を実施済(月毎アクセス集計) ・台湾向け繁体字ウェブサイトの新実施済(10月) ・観光PR動画に繁体字幕を追加済(10月) 	施策3-①	重点1(1)
25	柴田町	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 (「桜まつり」と「サイクルツーリズム」, 「ナイトツーリズム」を核とした広域連携での滞在コンテンツの強化による魅力アップ強化事業)	大河原町, 柴田町 (「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会, 「花のまち柴田」インバウンド推進協議会, 柴田町観光物産協会)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・しばた千桜橋での「さくらマルシェ」を開催(4月に実施完了) ・佐藤屋邸で花見の宴開催(4月に実施完了) ・2町連携での周遊スタンプラリー、和文化体験モニターツアー実施 ・インバウンド向け土産品として風呂敷を製作 ・サイクリングモデルコースの設定と看板設置(3月完了) ・広域連携観光ツアーとして、台湾人向け南宮城ツアーを実施(12月) ・おおがわら桜イルミネーションについてイルミネーション数を5万球から6万球に増。(12月6日～1月13日) ・3月にスプリングフラワーフェスティバル開催予定、併せてイルミネーションを実施→コロナ影響で中止 ・町民参加による「花のまち」植栽会の開催→中止 	施策4-① 施策5-②	重点2
26	柴田町	光のまちづくり推進事業 (ナイトツーリズム)	柴田町 (「花のまち柴田」インバウンド推進協議会, 柴田町観光物産協会)	オフタイム・オフシーズンの観光客数増加、知名度向上のため、各イベントでのライトアップ、イルミネーション、夜間イベントを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・紫陽花まつり(6月)、曼珠沙華まつり(9月)にて夜の鑑賞会を実施完了 ・台風19号により12月のファンタジーイルミネーションは中止 ・3月のスプリングフラワーフェスティバルにてイルミネーションを実施予定→コロナ影響で中止 	施策4-①	重点2
27	柴田町	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 (インバウンドおもてなし受入環境整備強化事業)	大河原町, 柴田町 (「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会, 「花のまち柴田」インバウンド推進協議会, 柴田町観光物産協会)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・大河原町内インバウンド用観光案内サイン等の整備 ・柴田町内インバウンド用観光案内サイン等の整備(船岡駅、郷土館等に3月設置済) 	施策6-② 施策7-⑤	
28	柴田町	「白石川堤一目千本桜」ブランド化事業 (インバウンド誘客人材育成強化事業)	大河原町, 柴田町 (「白石川堤一目千本桜」観光連携推進協議会, 「花のまち柴田」インバウンド推進協議会, 柴田町観光物産協会)	大河原町・柴田町両町の共通する観光資源である「白石川堤一目千本桜」の更なるブランド化を目指し、国内・インバウンド誘客を図るため、2町連携事業を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド誘致人材育成事業(2/23インバウンドセミナー実施、30名参加) ・インバウンド誘致人材の育成事業(小中学生による通訳ボランティアガイド育成事業)3月実施済 ・観光ボランティアガイドの養成(大河原:英語・中国語、柴田:中国語の観光ガイド講座を実施) 	施策7-③ 施策8-②	重点2

No.	報告担当	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和元年度取組実績	プラン施策	プラン 重点的取組
29	蔵王町 村田町 川崎町	みやぎ蔵王三源郷インバウンド宿泊促進事業(3町共通分) ※R元年度末で終了	蔵王町, 村田町, 川崎町	宮城県南地域で鉄道が通っていない3町が連携し、みやぎ蔵王三源郷エリアの魅力を一体化してさらに効果的にPRするため、仙台国際空港からのシャトルバスを自主運行させる。シャトルバスを活用したツアー造成を行い、仙台空港からの外国人観光客を3町へ誘客して外国人観光客がエリア内周遊を楽しめるようにする。またみやぎ蔵王三源郷のファン獲得を目指し、PRイベントなどにより認知度を向上させ、インバウンド宿泊誘客増加を図る。	【蔵王町】 令和元年6月21日～令和2年3月31日 1日2往復運行 乗車人数:計308名 ・ツアー商品造成事業 シャトルバスを利用したみやぎ蔵王三源郷エリアへの誘客を図るツアー造成を実施した。 ・ファン獲得広報宣伝事業 海外PR用パンフレット、着地型リーフレット、ポスターを作成し配布した。 台湾とタイのインフルエンサーによる魅力発見ツアーイベントを実施した。 【川崎町】 ・令和元年6月21日から令和2年3月31日まで三源郷エアポートライナーを運行し 計308人利用した。 ○ツアー商品造成事業 ・台湾における日本旅行ニーズを調査するため調査旅行を2回実施 ・みやぎ蔵王三源郷を中心とする観光モデルコース等を作成し、台湾エージェンツ4社に2回ずつセールスコールを実施。 ・台湾において影響力のあるインフルエンサーに協力頂き、若年層向けの動画を2種類配信。 ・海外エージェンツ向けの動画及びパンフレットを販売用ツールとして作成(5か国語) ○ファン獲得広報宣伝事業 ・着地型パンフレットの作成(5か国語 各100部) ・令和元年10月9日から10月10日にみやぎ蔵王三源郷を知名度向上を目的としたイベントを実施 ・PR用ノベルティ(風呂敷)を1,000枚作成	施策1ー② 施策6ー③ 施策7ー⑤	重点1(1) 重点2
30	丸森町	海外プロモーション強化事業	丸森町 (南宮城(仙台市から南側の県南4市9町))	これまでに造成してきたツアーの直接販売を行うための営業を展開する。	・台湾、中国、タイで直接営業を実施(83社訪問) ・Miyagi Explorerへ営業商材用67スポット掲載	施策3ー③	重点1(2)
31	丸森町	グリーン・ツーリズムと連動した旅行業展開	(一財)丸森町観光物産振興公社 (まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会)	まるもりグリーン・ツーリズム推進協議会と丸森“こらいん”ツーリストが連携し、農業にとどまらない体験メニュー商品を作成・販売	・お花見ツアー、夜の里山体験&ディナー、七夕ツアーを実施 ・被災地へ人を呼び込むための復興ツアーを実施した。(2回)	施策4ー①	重点2
32	丸森町	滞在コンテンツ充実・強化事業① (教育旅行推進事業)	丸森町 (南宮城(仙台市から南側の県南4市9町))	中国の教育旅行の誘致を行うとともに関係者を招請する。	・10/6～9日の3泊4日で中国(上海市、江蘇省常州市)へ、4市9町の首長及び教育長等(13人)でトップ視察を実施 ・訪問先は現地大学等、教育機関や行政機関 ・送客関係では、大河原町内中学生6人が中国(上海)へ、研究発表会に参加	施策4ー③	
33	丸森町	滞在コンテンツ充実・強化事業② (フードツーリズム推進事業)	丸森町 (南宮城(仙台市から南側の県南4市9町))	南宮城の観光コンテンツを洗い出し、受入・対応方法検討、ツアー造成と段階を踏み、実証実験まで実施する。	・8/16に大河原合同庁舎及び丸森町内会場で「体験ホスト説明会」を実施 ・主に説明会参加者をホストとした体験商品の造成を行った。 ・最終的には、4件の造成商品のOTA(Airbnb)掲載を行った。	施策5ー①	
34	丸森町	受入環境整備事業	丸森町 (南宮城(仙台市から南側の県南4市9町))	南宮城へのインバウンド誘客がスムーズになるよう交通インフラの整備、受入態勢の強化を行う	・9/21から阿武隈急行を活用したサイクルトレイン(自転車を輪行バック等に収納することなくそのまま乗降できる)を実施 ・自転車のバス輸送ルートを構築した。 ・アイコンステッカーを作成した。	施策6ー③ 施策7ー⑤	重点2
35	丸森町	宮城インバウンドDMO推進協議会における観光戦略立案	丸森町 (南宮城(仙台市から南側の県南4市9町))	沿岸2市2町を含む県南4市9町が連携した観光地域づくりのための戦略を立案する。	・東北観光復興対策交付金を活用し、インバウンド誘客のためのプロモーション強化、受入環境整備、滞在コンテンツ充実・強化事業を宮城インバウンドDMOへ委託し実施した。 ・交付金の第2回配分を活用し、南宮城インバウンド推進業務で「宿泊施設のOTA掲載支援事業」を実施(10/24に白石・蔵王会場で説明会実施※参加しなかった宿泊事業者にも個別に説明を予定)※台風第19号により甚大な被害をうけたため、10/23の丸森・名取会場での説明会は中止した。	施策9ー①	重点3

No.	報告担当	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和元年度取組実績	プラン施策	プラン 重点的取組
36	大河原地振	ブランド創造会議開催事業	大河原地振 (みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議)	仙南地域の観光産業・食産業等に携わる事業者が参集し、「みやぎ蔵王三十六景」を活用した「食と観光のブランド化」を理念とし、地域振興・産業振興に資する活動を検討する。	①ブランド創造会議開催 ・6月20日に第1回会議を開催し、みやぎ蔵王三十六景推進事業、仙南地域広域観光推進プラン実施状況等についての検討を行った。 ・12月5日に第2回会議を開催。	施策1ー① 施策9ー①	重点3
37		広報展示事業	大河原地振 (みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議)	「みやぎ蔵王三十六景」や「みやぎ蔵王温泉郷」の認知度向上を図るため、広報・展示を行う。	・事務所ホームページ・広報紙・SNS等を活用し、「みやぎ蔵王三十六景」及び「みやぎ蔵王温泉郷」の他、管内イベント等に関する情報発信を行った(随時)。	施策1ー① 施策1ー② 施策3ー① 施策9ー①	重点3 重点1(1)
38		仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業	大河原地振 (仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 県南地域部会)	・県南地域への誘客と周遊促進に向けたPRを行う(通年)。 ・仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン期間(7～9月)に重点的PRを行う。	・6月20日、第25回県南地域部会を開催し、H30年度事業実績の報告、R元年度事業計画の検討等を行った。部会員33名出席。 ・7/1～9/30、特別企画「県南ご当地キャラクターを探せ」を開催。延べ824通の応募があった(前年比143%)。 ・「ぐるり県南」について、内容を一部リニューアルし、年度内に発行(15,000部)。	施策1ー② 施策5ー②	重点1(1)
39		仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ①仙南地域の郷土料理伝承等事業	大河原地振 (管内市町(食育コーディネーター、生活改善グループ等))	仙南地域の郷土料理「おくずかけ」の次世代への伝承を行うとともに、観光資源の一つとして活用する。	・8月14日、みちのく公園でおくずかけの振る舞いを実施し、仙南地域の郷土料理として周知を図った(10月14日に予定していたみちのく公園での2回目の振る舞いは、台風19号の影響により中止)。2月23日に、ケララキッチン(大河原町)で、今後のインバウンド誘致につなげるため、ベジタリアンが多いとされるインド人等を対象としたおふるまいを実施した。 ・管内飲食店におくずかけ提供の働きかけを行い、新たに7店舗でおくずかけの提供が開始された(H30:3店舗→10店舗)。今後も継続して飲食店への働きかけを行う。 ・おくずかけPR動画を作成し、事務所HPに掲載した。 ・12月1日、おくずかけをテーマとした仙南地域を巡るバスツアーを造成。	施策2ー① 施策2ー②	
40		仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ②「食」の名物づくり事業	大河原地振 (管内市町(食品製造・販売事業者等))	仙南地域の「スイーツ」をテーマとした新たな「食」の名物づくりを行う。	・管内の菓子店の掘り起こしとリストアップを行った。 ・1月25日にホワイトキューブで老舗菓子店を集めた「せんなん菓子まつり」を開催し、仙南地域への集客促進を図った。	施策2ー②	
41	仙南地域の「食」のブランド化推進事業 ③「地域の逸品」普及促進事業	大河原地振 (みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議)	「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の普及促進に向けた検討やPRを行う。	・第1回ブランド創造会議で3品、第2回で1品を新たに地域の逸品に認定した(H30:56品→60品)。 ・管内の主要取扱店(道の駅、直売所等)に「地域の逸品」の表示を行った。 ・JR東日本「おみやげグランプリ2019」への地域の逸品のエントリーを働きかけ、2品がエントリーされた。 ・10/7～10/11、県庁1階販売会で地域の逸品のPRと販売を行った。 ・11月14日に「ブランド推進セミナー」を開催し、地域の逸品のブランド力向上を図った。 ・地域の逸品PRリーフレットを5,000部作成。	施策1ー① 施策2ー② 施策9ー①	重点3	

No.	報告担当	事業名	実施主体 (連携先)	事業概要	令和元年度取組実績	プラン施策	プラン 重点的取組
42		みやぎ蔵王温泉郷に ぎわい創出事業	大河原地振 (みやぎ蔵王三十 六景ブランド創造会 議, 蔵王町ほか)	国内若者層をターゲットに、「まちあるきを楽し める」温泉街への仕組みづくりを支援すること で、温泉地の活性化と宿泊観光客の増加を目 指す。	・蔵王町の遠刈田温泉をモデル地区に位置付け、蔵王町役場や観光事業者等から情報収集を行った。 ・温泉街活性化の取組の一環として、12月14日に遠刈田温泉で「遠刈田温泉クリスマスマーケット ～みやぎ蔵 王 冬の白い逸品～」を開催。	施策1ー① 施策2ー① 施策9ー①	重点3
43		集客・周遊促進事業	大河原地振 (管内市町, 福島県 県北・相双地域, 山 形県村山・置賜地 域)	県際連携や管内観光イベントの一体的PRに より、仙南地域への集客と周遊促進を図る。	①県際連携事業 ・福島県の県北地方振興局及び相双地方振興局、山形県置賜総合支庁と、イベントの共催や相互PR等につい ての打合せを行った。 ・8月10日、おもしろいし市場(白石市)と共に道の駅米沢のテント市「道の市」に出店し、仙南地域の観光PRと白 石温麺等の物販を行った。 ②管内観光イベントの一体的PR ・仙南地域の各地で開催されるひな祭りについて、「ひなの郷せんなん」として一体的PRを行い、イベントイメー ジの定着と観光施設間の周遊促進を図った。(H29年度から継続して実施)。 ・PRポスター150部, リーフレット15,000部作成。	施策1ー② 施策3ー② 施策5ー① 施策5ー②	重点1(1)
44		観光サインの整備	大河原地振 (宮城県, 仙南2市 7町)	観光客の円滑な周遊のため、観光案内サイン の整備を行う。	・市町村振興総合補助金「みやぎ路観光地整備事業」の実施に係る助言・指導を行った(七ヶ宿町, 川崎町)。	施策6ー② 施策7ー⑤	